



我が社は、プリント配線基板の部品実装や電子制御基板の組み立てを主に行っており、約20年前の1995年にスリランカに現地法人を設立しました。当時私は、首都コロンボでテロによる爆発事件が起こり多数の死者を出したとの報道があった2日後に、スリランカへ渡りBOI（スリランカ投資庁）との間で工場用地契約を行いました。多くの日本人がスリランカから脱出する

## 親日国スリランカ

最中での契約でしたので、BOI会長から、「あなたはサムライだ」と言われました。スリランカは、とても親日的な国です。スリランカは、イギリスを始めとするヨーロッパ諸国の植民地時代が長く、日本が同国の独立を導ききっかけを作ったと考えています。近年のODA

## 地理的優位性を活かした 欧米市場へ

現在、工場では日本人1名と300名の現地スタッフが働いています。工場設立当初に20名程のスリランカ人を京都で研修し、当時の研修生が主に管理職となって工場を運営しています。現場では現地マネージャーとの信頼関係が大切で、日本流経営方針も現地習慣を加味して

進めていくことが重要です。スリランカ人は手先が器用で、我が社のような細かい製品作りに向いています。しかし、スリランカでは手で食事をする習慣がありますが、我が社の製品は汚れた手で作業することはできません。そこで、社員にスプーンフォークを使って食事をするように指導しました。日本と同様の製品を製造しているのですが、こちらでは地理的優位性、日本よりも輸送期間を短くできるというメリットを活かし、主にヨーロッパ・北米からの委託生産をしています。スリランカ進出でも、日本国内でも苦労はつきものですが、進出した国やその地域の人たちと目標を分かち合うことが重要です。また現在は、日本人に近いと思われるミャンマーへの進出に思いを馳せ、京商が実施するミャンマービジネスミッションへ参加し現地の生きた情報をこの目で確かめたいと考えています。

アジアビジネスを  
レポート!

# 京都 Asia

京都からアジアに進出し活躍する企業と、アジアビジネス相談デスクアドバイザーからアジア各国を紹介します。

今回は・・・

## スリランカ進出企業 REPORT

トスレック株式会社  
代表取締役 三笠 日郎  
トスランカ工場長 田中 宣行



田中工場長(左)と三笠社長

所在地：京・南区吉祥院西ノ庄西中町 46-2  
TEL:075-314-2418  
事業内容：半導体・電子部品・端末機（販）  
プリント基板設計（製）  
組立加工、電子制御基盤（製）

### TOS LANKA CO.,(PVT) LTD.

所在地：Block"B" Biyagama Export Processing Zone Biyagama, Sri Lanka  
設立：1995年12月  
事業内容：表面実装型プリント回路基板・LED& CFL ランプ（製）、車載用ハーネス・各種組立加工

私が紹介!



### ●アジアビジネス相談デスクアドバイザー●

辻本法律特許事務所 所長

弁護士・弁理士・ニューヨーク州弁護士 辻本 希世士

## 海外企業との契約について

海外企業との取引も契約に基づいて行います。海外企業との契約では、特に、契約に適用されるルールと紛争が生じた場合に戦う土俵に要注意です。契約にどの国の法律が適用され、紛争が生じた場合にどのような機関で解決するか、不明確だからです。

もちろん、日本法が適用され、紛争解決は日本の裁判所で行うように契約書で定められればベストです。ただし、日本の裁判所で得た判決を海外で執行するには海外の裁判所で承認を得る必要があることも多く、国によっては日本の判決を承認しないところもありますので、このような場合は、例えば仲裁を選択する方法もよく使われます。これらの点も交渉マターであり相手方との合意次第ですが、少なくとも海外企業が示すひな型の内容を検討せずにサインするようなことは避けましょう。

**アジアビジネス相談デスク** 専門アドバイザーによる個別相談室です。お気軽にご利用ください。

お申込み・お問合せ 京都商工会議所 アジアビジネス相談デスク（産業振興部内）

TEL 075-212-6442 URL://www.kyo.or.jp/management/asiabusiness.html